県民の森の植物 76　　ミツバアケビ　（アケビ科　アケビ属）

落葉性の蔓性の木で、秋に出来る果実はアケビと共に親しまれています。アケビは小葉が 5 枚ですが、このあたりでよく見られるのは 3 枚の小葉のミツバアケビです。名の由来は、大きく口を開けた果実の形から「開け実」が変化したという説などがあります。果実は薄紫色で熟すと裂けて、中には半透明で水分を含んだゼリーのような果肉と黒い種が入っています。種は苦いですが、果肉は甘くて美味しいです。果肉以外に果皮も炒めたり煮たりしてほろ苦さを楽しみます。

また、つるを干したものは「木通（あけび・きつう）」と呼ばれ、煎じて利尿や鎮痛の生薬として利用されています。つるはカゴを編んだり、アケビ細工を作ったり、薪などの結束に昔から利用されてきました。柔らかい新芽も山菜として食されており、すべての部位が活用できる農山村の生活を支える重要な植物でした。

花は雌雄異花で気品のある紅紫色、受粉した雌花がだんだんと成長していく様子を観察するのは散策の楽しみのひとつです。今年は花の当たり年のようで、たくさんの花をつけています。園内各所で見られます。



小葉は3 枚 5/9　　冬芽 3/14



芽吹き 4/24



花（大きいのが雌花・小が雄花）5/13



果実の赤ちゃん 6/16



若い果実 8/17



熟した果実 10/10

県民の森　木工教室　　ご予約・お問い合わせ　学習館☎0195-78-2092

【木工教室】イス

2024年6月15日（土）

10:00～11:00

【定　員】 15 名
【参加費】 2,500 円（着色する場合：別途 1,000 円）
【会　場】 森林ふれあい学習館

コンパクトな木製のイスは持ち運びも便利。踏み台や物置きとしても利用できます。初めての方でも大丈夫。素敵な可愛らしいイスが出来上がります。

【初心者対象】

【持ち物】　軍手など
【服　装】】 作業できる服装



森林ふれあい学習館　ギャラリー展示　　お問い合わせ　学習館☎0195-78-2092

水墨画で楽しむ岩手の自然

松浦美矢子水墨画展

2024年6月1日（土）～30日（日）

岩手の自然に魅せられて、県民の森近くで暮らす松浦さん。四季折々の自然の美しさを水墨画で表現しました。



【松浦美矢子プロフィール】

1950 年青森県生まれ。八幡平市在住。MOA 美術館光輪クラブインストラクター。岩手県庁や盛岡駅などで花の生け込みをボランティアで行っている。水墨画は滝沢市睦大学で学んだことがきっかけ。描き始めて 9 年になる。

岩手県森林公園

県民の森だより

2024.
6
Vol.221
発行　岩手県県民の森
（公益社団法人
岩手県緑化推進委員会）
【毎月5日発行】



新緑の七滝　　2023/6/1

新緑の季節。生まれたばかりの木々の葉っぱは、薄く柔らかく陽の光が差すと透けて、非常に美しいです。そのうち日に日に緑が濃くなり、明るかった森のなかは木陰になります。鳥たちやエゾハルゼミの声を聞きながら、静かで爽やかな森あるき。学習館近くの松川の流れや、すこし足を伸ばして七滝まで歩き、新緑と清々しい水流を楽しむのも贅沢です。県民の森へようこそ。

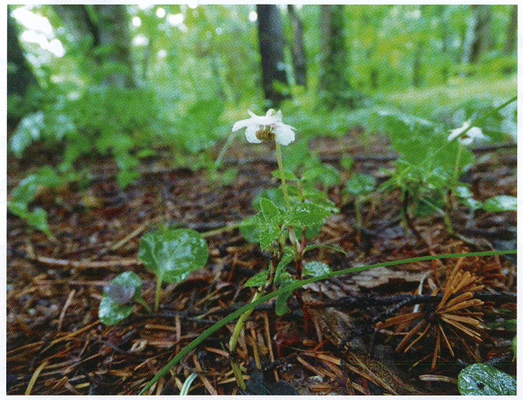
岩手県県民の森　管理事務所

〒028-7302　岩手県八幡平市松尾寄木 1-515-5　森林ふれあい学習館フォレストアイ
TEL. 0195-78-2092　FAX.0195-71-1778
開館時間：9 時～ 16 時　火曜休館（祝日の場合翌日振替）

（旧 Twitter）
@forest_iwate

6月は白い花。

この時期に咲く花は白い花が多く、枝いっぱいに咲いて雪をかぶっているように見えるものから、林床（りんしょう）の小さな木の花まで様々です。爽やかな森のなか、花を探して歩いてみませんか。



【ウメガサソウ（梅笠草）】ツツジ科 2023/6/29

高さ 5 ㎝ほどの常緑の小さな小さなツツジです。林床にうつむき加減にひっそりと咲いていますので、見守ってあげてください。



【ホオノキ（朴木）】モクレン科 2023/6/1

日本自生の樹木のなかで、いちばん大きな葉と花を咲かせます。花は人の頭くらいあります。園内各所で見られます。



【サワフタギ（沢蓋木）】ハイノキ科 6/3

沢に蓋をするように茂ることが名の由来。秋には瑠璃色の美しい果実が出来ます。



【ヤマボウシ（山法師）】ミズキ科 2023/6/23

花びらに見えるのは総苞片と呼ばれる葉、本当の花は真ん中の球形。小さな花が多数つきます。



【ノイバラ（野茨）】バラ科 2023/6/21

野生のバラの代表格。棘があるので要注意。秋に出来る赤い実はクラフト材料に利用されています。



【バイカウツギ（梅花空木）】アジサイ科 6/18

梅に似た花を咲かせることが名の由来。ウツギのなかで最初に咲きます。



【ウツギ（空木）】アジサイ科 2023/6/26

旧暦で 4 月に咲くことから「卯の花」とも呼ばれています。



【ハクウンボク（白雲木）】エゴノキ科 6/12

優雅な美しい花を空にたなびく白雲に見立てたのが名の由来。



【カンボク（肝木）】ガマズミ科 2023/6/11

大きな白い花びらに見えるのは装飾花。ほんとうの花は真ん中の粒々、小さな花が多数集まっています。秋に赤い実をつけます。



【サルナシ（猿梨）】マタタビ科 6/22

つる性の木で、あちこちで木に巻きついてよじ登っています。秋にキウイフルーツを小さくしたような緑色の甘くて美味しい果実が出来ます。



【ハマナス（浜茄子・浜梨）】バラ科 6/1

白い花が多い季節ですが、ピンクの花も。皇后陛下のお印として有名な美しい優雅な花は、学習館前などで見られます。

県民の森の 6 月の風景　新緑の森を楽しんでみませんか？



【みんなの広場から見る岩手山】 2023/6/6

残雪も融けて緑の山になりました。



【森の大橋】 2023/6/5

紅葉で有名ですが、新緑もまた美しいです。



【記念の森のあずまや】 2023/6/29

爽やかな散策と休憩ができます。



【新緑の夫婦桜】 2023/6/6

桜の時期には訪れる人が多いですが、四季を通じて会いに行くのもまた楽しいです。新緑の 2 本の大木の寄り添う姿は爽やかで清々しいです。



【ツキノワグマのうんち】 2023/6/14

県民の森には様々な動物が暮らしており、その跡に出会うこともしばしば。糞をほじくり返すとサクラの実が出てきました。



【野鳥の森のヒメボタルの光】 2023/6/25

陸生の山のホタルです。以前は七夕あたりでしたが年々時期が早くなり、6 月下旬頃に美しい光を見ることが出来ます。

県民の森のジョウビタキ

「みんなの広場」でジョウビタキのカップルに出会いました。雄は頭が銀白色、顔は黒、腹は赤茶色。雌は薄い茶色で、雌雄のコントラストが美しい鳥です。お互いにじっと見つめあって佇んでいます。すると、突然雄が雌に飛び乗り、、。思いがけずデートを垣間見た数秒間でした。

もともとは日本では冬鳥とされてきましたが、近年は繁殖が確認されて年中見られる鳥になったジョウビタキ。県民の森では、雪融けの頃あたりから会うことが多いです。





ジョウビタキ（左が雄、右が雌）2023/6/26

「森林体験学習」をご提供します　問い合わせ　森林ふれあい学習館 ☎0195-78-2092

岩手県内の小学校・中学校・高等学校を対象に、県民の森の豊かなフィールドを利用した「森林体験プログラム」を学校毎に作成し、無料で提供する事業を始めました。プログラムのひとつに、木の実を使った工作体験（有料）を組み込むことが条件です。森の中の活動を通して、自然の素晴らしさ、楽しさを体感することは SDGs を学習する機会にもなります。

また、森林ふれあい学習館は、森林・林業・木材利用の展示が充実。館内を見学するだけで森林学習が深まります。先生方の視察・体験等も承りますので、お気軽に学習館までお問い合わせください。

【プログラム例】

- フィールドビンゴ（グループで葉っぱや木の実を探してビンゴを完成）
- トチの実の不思議（トチの実を使って、手を洗ってみよう）
- 誰が食べた？どう食べた？（動物や虫の食痕を探します）
- 県民の森散策（岩手山麓の豊かな自然を五感で味わいます）





【県民の森プライベートガイド】

イベント以外の日、1 週間前までの予約制。人数が揃えばお得です。団体様もご相談ください。※キャンセルの場合はキャンセル料が発生します。

【七滝ハイキング】四季折々の美しい自然を楽しみながら、落差 30m の迫力ある名瀑を目指します。
約 4 時間　7,000 円（こちらの料金で最大 5 名様までご案内）
【県民の森散策】岩手山麓の豊かな自然、県民の森ガイドがその日のとっておきの場所をご案内します。
約 90 分　5,000 円（こちらの料金で最大 5 名様までご案内）